

# 京機会ニュース

No. 8 平成13年(2001年)3月14日

## 京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL&FAX:075-753-5183、 E-mail:keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>



関東支部設立総会の風景

### 目 次

平成13年度京機会春季大会・総会のご案内	2頁	平成13年度活動計画案	7頁
「学生と先輩との交流会」への参加のお誘い	3	産学交流会のお知らせ	7
平成12年度京機会秋季大会の報告	3	関西支部「異業種交流会」・「産学交流会」の 参加会員(第2期登録会員)の募集	7
「京機会名簿 一卒業生輩出100周年記念号」の発行	4	京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業 「リカレント教育」	8
会計報告と会費納入のお願い	4	第2回リカレント教育参加者募集	9
平成13年度中部支部設立総会・懇親会のお知らせ	4	教官の異動	10
京機会関東支部設立総会の報告	5	会員のページ	10
関西支部からの報告とお知らせ	6		
平成12年度活動報告	6		

編集担当(北村隆行、本田善久、中部主敬、田中和人、段智子)

## 平成13年度京機会春季大会・総会のご案内

標記の大会・総会を下記のとおり開催いたします。今回は初の試みとして、従来の平日にかえて土曜日に大会を企画いたしました。よろしくご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時：平成13年4月14日（土）12：00～

会 場：京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻  
工学研究科物理系校舎313講義室ほか

行 事：

1. 学生と先輩との交流会 12：00～14：30

学生が企業でご活躍の先輩とお話できる機会をもてるよう、この会を準備します。  
（参加希望企業については3ページを参照の上、事務局までご連絡下さい）

2. 講演会（学内） 14：40～15：25

「私の流体力学研究」

小森 悟 氏（S49年京大化工卒、S51年同修士、S54年同博士修了、S54年京大化工助手、S55年環境庁国立公害研（現：環境研）研究員、S61年九大化学機械助教授、教授を経て、H10年より京大機械教授）

環境中や工業装置中での乱流輸送現象に関する自己の研究例をあげて流体力学研究に対する私見を述べる。

3. 講演会（卒業生） 15：30～16：15

「改正された技術士資格と工学教育」

佐藤 国仁 氏（S48京大機械修士卒、（有）佐藤R&D 代表取締役）

昨年、技術士制度が改正され、技術士＝プロフェッショナルエンジニアとして、その資格の位置づけを確立した。国際整合化、大学・学協会との連携強化、技術者倫理を含む職業規範の増進を進める活動が活発化している。

4. 総 会 16：30～17：15

平成12年度会計報告の件

役員改選の件

関東支部事業報告の件

中部支部設立の件

第二世紀記念事業の件

その他

5. 関西支部総会 17：15～17：45

懇親会： 18：00～20：00

会 場：京大生協吉田食堂（旧教養部構内吉田グラウンド南 TEL075-751-8660）

会 費：2,000円、学生1,000円（当日会場でお払い下さい）

○ご出欠のご回答を、4月3日（水）までに、同封のはがきでお寄せ下さい。

なお、評議員の方には、評議員会（13：30～14：30）についてもよろしくお願ひいたします。当日は関西支部産学交流会も同時開催いたしますが、登録会員以外の方も奮ってご参加下さい。詳細は7ページをご参照下さい。

## 「学生と先輩との交流会」への参加のお誘い

4月14日(土)の京機会総会に併せて「学生と先輩との交流会」を催します。これは、各会社ごとのコーナーをもうけて、学生の将来・就職に関して先輩と相談する企画です。参加を希望される場合には、3月23日(金)までに、京機会事務局に連絡願います。

会 場：京都大学工学研究科物理系校舎

- ・ 各社から1～2名の卒業生を派遣いただき、在學生に大学の機械系工学の先輩として、会社での仕事の内

容・やり甲斐などをお話しいただく。

- ・ 大学の教官からは、大学院学生(M1とM2)と4年生に、ぜひこの会に出席するように指導します。なお、他学年も随意参加します。
- ・ 12:00～14:30 会社ごとのコーナーでの交流会、その後、京機会総会および講演会と、全体での懇親交流会を行いますので、必ずご参加下さい。

## 平成12年度京機会秋季大会の報告

平成12年度京機会秋季大会は、三菱重工業㈱のご厚意により、平成12年11月10日(金)、同社神戸造船所において、約100名の参加のもとで開催された。

まず、同社原子力設計部長喜多 薫氏(S47)から歓迎の挨拶と、同社の概要説明があり、それに引き続いて、3件の技術講演があった。

水谷敏行氏(神戸造船所 原子力設計部:S63)から「原子力発電用・輸出取替蒸気発生器の開発」と題し、加圧水型原子力発電プラントの中で最重要機器の一つである蒸気発生器について概要の説明のあと、神戸造船所で設計・製作中の最新鋭の輸出向け取替蒸気発生器の開発状況の説明、気水分離器実証試験や伝熱管群耐震試験の大規模な開発試験の様子を紹介があった。

続いて有村久登氏(高砂製作所 タービン技術部:S59)から「発電用ガスタービンの開発と動向」をテーマに、同社でのガスタービンの開発の歴史と特徴の紹介に続いて、最近のガスタービンの動向、特に炭酸ガス排出量の削減の課題と蒸気タービンと組み合わせたコンバインドプラントによる高効率化等について説明があった。

また、常脇 寛氏(高砂研究所 機器・自動化装置研究室:

S58)からは「ロボット技術のメカトロ製品への適用」として、同社で開発された広範囲なメカトロ製品の中から、積み木のように自由に構成を変えることのできる軸モジュール型マニピュレータ、ガスタービン燃焼器引抜支援装置、超多自由度制御を例証したマイクロマシン、磁気軸受型壁面移動ロボットなどの紹介があった。

技術講演に続いて、同社神戸造船所を工場見学させていただいた。全長約270mにも及ぶ大型コンテナ船の製造現場の船台真近かでの見学や、大型船用ディーゼルエンジン、原子力発電用蒸気発生器製造現場を含むプラント工作部と重機器工場の見学などを通じ、大型機器製造の迫力、もの作りの大切さ・おもしろさを実感した。

最後に喜多 薫部長の挨拶があり、秋季大会を閉会した。

懇親会は、同社の神戸造船所設計開発センター12階のダイニングルームで開催された。神戸の町の夜景を正面に見るすばらしい会場で、約60名の参加があった。永井関西支部長、矢部副会長の挨拶のあと、最長老参加者の仲本大先輩のご発声で乾杯し、懇談に入った。最後に、次年度の秋季大会の開催を引き受けていただいたJ R西日本、および近く発足する中部支部の幹事のご挨拶があり、盛会裡に行事を終えた。



秋季大会技術講演の風景



秋季大会懇親会の風景

## 「京機会名簿 — 卒業生輩出 100 周年記念号」の発行

「京機会名簿—卒業生輩出 100 周年記念号」を昨夏、発行いたしました。

名簿につきましては事務局での電子化で版下を作成することにより、名簿発行収支の大幅な改善が期待できるようになりました。版下はExcelのデータベースをAccessにリンクし、後者のレポート機能で出力したものです。なお、前回のニュースでもお知らせしましたが、平成10～12年度分会費完納皆様には、無償で名簿をお送りいたしております。また、割引

頒布もあります。購入希望の方は価格をご確認の上、下記、事務局までお申込み下さい（名簿定価:6000 円、割引頒布価格:会費2年分連続納入者 2000 円・1年分納入者 4000 円）。ご購入の場合、支払いはお届け後、同封の振込用紙にてお願いいたします。そのほか、ご不明の点がございましたら事務局までお問合せください。

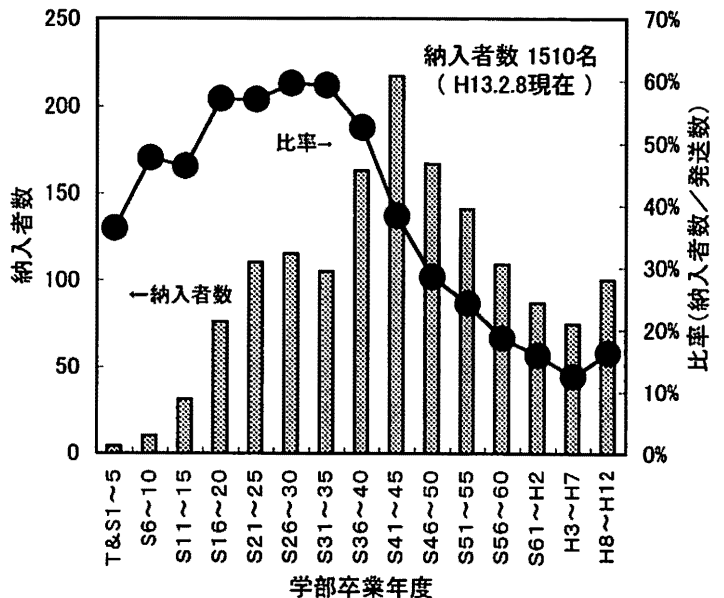
名簿担当 熊本博光 (S44)

## 会計報告と会費納入のお願い

平成12年度会計決算報告は、次号の京機会ニュース(No. 9)にて行います。本年度は名簿印刷費が支出され、通信・発送費の増加と合わせて、収入を超過する見込みです。ただし、これまで通りの会費収入があれば、3年毎の名簿発行を賄うことができます。

右図に平成12年度会費の2月8日時点における納入状況を示します。名簿の割引頒布を実施したために、年会費3000円を平成10年度まで遡って納入された方が多数おられ、約1,370名の方に名簿を無料送付いたしました。しかし、例年の同時期に比べて納入者数が若干ながら減少しています。

関西・関東支部に続いて中部支部の設立が計画され、来年度からは3支部への交付金および企画行事補助の計上が必要となります。そのほか学年同窓会、各種会合などの諸活動を継続して支援するため、引き続き会費納入および銀行預金口座振替の利用をよろしくお願い申し上げます。



## 平成13年度中部支部設立総会・懇親会のお知らせ

中部支部は中部地区でご活躍されている会員の皆様の交流を図ることを目的とし、人的ネットワークの拡大を図りたいと考えております。当面年1回総会を兼ねた懇親会を行うことを計画しております。

平成13年度の総会ならびに懇親会は下記日程で開催いたします。中部地区の方には詳細を別途ご案内いたします。

日時 5月26日(土) 17時から

場所 産業技術記念館(名古屋駅近く)

以下に記載した支部の役員候補によって運営する予定です。

中部支部役員候補(敬称略)

支部長 松本和男 (S41 デンソー)

副支部長 松久寛 (S45 京都大学)

加藤由人 (S42 トヨタ自動車)

事務局長	鈴木武 (S42 三菱自動車)
評議員	伊勢清貴 (S53 トヨタ自動車)
	鎌井健一郎 (S53 デンソー)
	佐々木一衛 (S52 豊田自動織機)
	田村穰二 (S47 ヤマハ発動機)
	野村真三 (S53 三菱自動車)
	吉田晃 (S54 三菱重工)
	伴鋼造 (S54 中部電力)
	平田直人 (S60 東邦ガス)
	小沢理夫 (S47 日本ガイシ)

なお、当日は13時より京大先生方によるリカレント教育(9ページ参照)、記念館の見学会などの企画があります。

## 京機会関東支部設立総会の報告

平成13年2月3日(土)、東京の赤坂プリンスホテルにおいて、120名を超える多数の会員の参加のもとに京機会関東支部設立総会が開催された。

総会開催にあたって、まず、小澤三敏氏(住友重機械工業(株):S33)から、新しい世紀の幕開けの期に関東支部が設立することになったことを慶ぶとともに、「心のよりどころとしての京大」をキーワードとし、関東の地域性を生かして、会員の交流の場として長続きする運営をしたいとの挨拶があった。

西八條 實会長の祝辞(矢部副会長が代読)に続いて、熊沢正博氏(㈱日立製作所:主当番会社代表:S43)から京機会関東支部規約、同規約細則、および幹事企業の説明があり、それに基づいて初代役員として、支部長:小澤三敏氏、副支部長:二宮 敏氏、寺門良二氏、松久 寛教授他が選出された。

続いて、駒井謙治郎教授(S38)から、京都大学機械系工学教室第二世紀事業の経過報告として、記念式典の挙行、記念誌刊行準備状況、産学交流事業の一環としてのリカレント教育の立ち上げ、学生の実学経験の促進への取り組みなどが報告され、併せて、より一層のご協力の依頼があった。また、松久 寛教授(S45)から、京機会の活動の現況、春季総会、各支部設立の状況の報告があった。

記念講演会では、久保愛三教授(S41)から「アナロジー雑感」と題して、古典力学や熱力学の法則などを生物の挙動や経済・社会・政治などの状況に当てはめることによって見えてくる現在社会のシステムとそのダイナミクスについてのお話と、佐々木美樹氏(S48)から「ベンチャービジネスのインキュベーション」のテーマで、ベンチャービジネス(VB)の誕生から成長、それをとりまく環境、VBの実際、そして氏が勤めておられる日本アジア投資㈱の概要の紹介などのお話があった。

3グループに分かれて記念撮影をしたあと、新年会に移行した。

懇親会では、二宮 敏副支部長(パブコック日立(株):S33)から、世代背景の異なる者が温かく交流できる場に育てたい

との挨拶、永井 将関西支部長(日立造船(株):S31)から、関東支部設立をお祝いするとともに、同窓会を通じての人的ネットワークをはぐくむ場としてほしいとの挨拶があり、同氏の発声で乾杯し、懇談に入った。

宴の最後として、寺門良二副支部長(新日本製鐵(株):S35)から、社会のスピードによる「散散」に対処できる「遊び」の場としての京機会関東支部に期待したいとの挨拶に続いて再度乾杯をして、盛会裡にお開きとなった。

### 祝 辞

京都大学機械系工学会

会長 西八條 實

本日、京都大学機械系工学会関東支部が設立されることになりましたことを心からお祝い申し上げます。

設立に至りますまでの関係各位のご尽力に厚く感謝いたします。

平成9年に京機会の会規約が改正され、会の活動の一つとして支部を設立することがうたわれました。それに基づきまして、平成11年に、まず、関西支部が立ち上がり、これに続いて、この度、関東での支部設立が実現いたしました。

京機会は教室卒業生の皆様の交流の場を提供し、また卒業生と教室との接触の場の醸成に積極的に仲立ちするものとして位置づけられております。会員相互の親交を深めるための場であることに加えて、現職の先生方の研究に関わりのある情報を交換する場でもあります。

いままで、京機会は、京都を含め関西の地での開催が殆どでありましたが、多くの卒業生がおられます関東でのこの度の支部の設立によって、京機会の本来の役割の場に新しい広がりが生まれたことになり、そこに非常に大きな意義があると考えております。

関東におられます会員の皆様方のご支援によりまして、関東支部が、京機会活動の一つの重要な核として大きく成長いたしますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



記念写真より (S20～S42年卒業生)



懇親会の風景

## 関西支部からのお知らせ

### 1. 平成12年度活動報告

#### (1) 会議

4月21日 支部総会 11年度活動報告、12年度活動計画審議

7月8日 事務局会議 支部運営方針・要領打合

10月26日 事務局会議 新年会打合

1月12日 運営会議 12年度活動総括、13年度活動計画審議

#### (2) 異業種交流会 (登録会員数76名)

##### 第3回異業種交流会 (参加者数29名)

開催日 6月22日 (木)

開催場所 島津製作所 (株) 三条工場 研修センター

内容 ・三条工場見学

- ・講演 1) 航空機用空気調和装置について  
航空機器事業部 乙野和史 (H3)
- 2) レーザ回析式粒度分布測定装置での新しい  
試み 験計測事業部 鷲尾一裕 (S57)
- ・懇親会 (参加者25名)

##### 第4回異業種交流会 (参加者数31名)

開催日 10月13日 (金)

開催場所 (株)クボタ 堺製造所サービスセンター

内容 ・堺製造所見学

- ・講演 1) トラクターの開発動向  
トラクター技術部 大西直樹 (S52)
- 2) 小型汎用ディーゼルの排ガス規制動向及び対  
応技術  
エンジン技術部 佐々木真治 (S53)
- ・懇親会 (参加者25名)

##### 第5回異業種交流会 (参加者数40名)

開催日 12月7日 (木)

開催場所 三洋電機 (株) 研究開発本部

内容 ・研究開発本部見学

- ・講演 1) 三洋における製品開発時間短縮の取り組み  
CE推進センター 河田 宏 (S45)
- 2) ヒューマンシステム分野の研究開発  
メカトロニクス研究所 安田昌司 (S53)
- ・懇親会 (参加者34名)

##### 第6回異業種交流会 (参加者数36名)

開催日 2月20日 (火)

開催場所 三菱重工業 (株) 高砂製作所・高砂研究所

内容 ・高砂製作所、高砂研究所見学

- ・講演 1) 発電用ガスタービンの最新動向  
ガスタービン設計課 有村久登 (S59)
- 2) 高砂研究所における振動関連研究の紹介  
振動騒音研究室 森一石 (H5)
- ・懇親会 (参加者34名)

#### (3) 産学交流会

「材料工学懇話会」と「設計・製造・機素・振動懇話会」は13年4月より合併して「設計・製造・材料・機素・振動懇話会」とする。

登録会員数	材料工学懇話会	32名
	熱流体工学懇話会	42名
	設計・製造・機素・振動懇話会	54名

#### 第3回産学交流会

開催日 7月8日 (金)

開催場所 京都大学大学院工学研究科

・材料工学懇話会 (参加者数11名)

- 講演 ①分子動力学法による材料シミュレーション理論  
と材料強度解析 京都大学 北村隆行 (S52)
- ②ここまで来たカラーレーザープリンタ (電子写真技  
術とデバイス)  
松下電器産業 (株) 浦田嘉人 (S43)

・熱流体工学懇話会 (参加者数14名)

- 講演 ①次世代型ごみ処理プラントについて  
(株)クボタ 七里雅隆 (S49)
- ②エンジン用CFDコード“GTT”の研究開発  
京都大学 脇坂知行 (S44)
- ③ITS (Intelligent Transportation System)の技術  
動向について  
住友電気工業(株) 天目健二 (S47)

・設計・製造・機素・振動懇話会 (参加者数20名)

- 講演 ①“カラーレボルバ”におけるレジストレーション  
技術 (QLPTメカニズム)  
松下電器産業 (株) 古川正紀 (S59)
- ②放送用VTRにおける互換性技術  
松下電器産業 (株) 竹内 淳 (S50)
- ③マシニングセンターの高速化と知能化  
京都大学 松原 厚 (S60)

・合同懇親会 (参加者34名)

#### 第4回産学交流会

開催日 10月14日 (土)

開催場所 京都大学大学院工学研究科

・材料工学/設計・製造・材料・機素・振動合同懇話会  
(参加者数29名)

- 講演 ①ドライカットシステム  
三菱重工業 (株) 中村容造 (S58)
- ②歯車研削盤とその周辺技術  
三菱重工業 (株) 橋谷道明 (S55)
- ③ゴンドラ、船、吊橋の揺れを簡単に止める  
京都大学 松久 寛 (S45)
- ④技術者認定制度 (技術士、PE, CE, JABEE)  
の動向について 京都大学 松久 寛 (S45)

### ⑤細径金属線冷間圧延技術の開発

住友金属工業(株) 黒田浩一(S55)

・合同懇親会(参加者22名)

### 第5回産学交流会

開催日 1月13日(土)

開催場所 京都大学大学院工学研究科

・材料工学/設計・製造・材料・機素・振動合同懇話会  
(参加者数29名)

講演 ①社会資本の劣化と橋梁メンテナンス

京橋工業(株) 並木宏徳(S44)

②21世紀の製品設計・生産システムについての一考察

京都大学 吉村允孝(S43)

・熱流体工学懇話会(本懇話会としては第4回)

(参加者数21名)

講演 ①熱流体現象計測の基礎(1)

京都大学 吉田英生(S53)

②熱流体現象計測の基礎(2)

京都大学 中部主敬(S56)

・合同懇親会(参加者30名)

(4) 新年会(参加者数139名)

開催日 1月12日(金)

開催場所 ホテルグランピア大阪

当番会社 JR西日本(次期関西支部当番会社)

当番会社と支部長の挨拶、矢部教授の祝辞・大学の近況報告、山田名誉教授ご発声による乾杯後、会食・歓談した。元気の良いご高齢の方から若手まで、記録的な多数の方が参加され、旧交を温めたり、京大グッズが当たる福引、琵琶湖周航の歌の大合唱で楽しいひと時を過ごし、最後に最年長の伊藤先輩ご発声による万歳三唱で大盛況のうちに幕を閉じた。

(5) 有志懇親会

①京機九日会:大阪、中央電気倶楽部にて開催

・開催日 平成12年は2月9日、4月10日、6月9日、8月9日、10月10日

・開催予定 平成13年は偶数月の9日(ただし12月は除く)

・参加人員 13~20名(登録会員42名)

・内容 昼食前後に、出席者の話題提供、懇談

②京機・京都の会:京都、都ホテルにて開催

・開催日 原則は奇数月の第一土曜日

平成12年は、3月、7月、9月、12月に開催

・開催予定:平成13年も同月開催の予定

・参加人員:15~20名(登録会員33名)

・内容:昼食後に、出席者の話題提供、懇談

## 2. 平成13年度活動計画案

(1) 活動方針 支部設立初年度に発足した「異業種交流会」、「産学交流会」、「新年会」の活動を活性化するとともに、幅広く活動を行う。

(2) 個別活動計画

①支部総会の開催 4月14日(土)の京機会総会に合わせて開催する。議題:平成12年度活動報告/平成12年度会計報告/役員改選/平成13年度活動計画、予算審議/その他

②異業種交流会の開催 年4回程度の開催を企画する。6月にJR西日本、9月に住友金属工業(株)、12月に三菱電機(株)、2月に(株)コマツで開催を予定。

③産学交流会の開催 設計・製造・材料・機素・振動懇話会」と「熱流体工学懇話会」の2つの懇話会を年3回程度開催する。開催場所は12年度までの京都大学のみならず、大阪地区での開催も企画する。

④新年会の開催 新年会を平成14年1月に開催する。当番会社は松下電器産業(株)。

⑤その他 有志懇親会として開催されている京機九日会、京機・京都の会などについて関西支部の活動として支援、参加することとする。また、平成13年2月に設立された関東支部との交流を目的として、関東支部会員の講演会などを企画する。

## 3. 産学交流会のお知らせ

日時:平成13年4月14日(土)10:30~

会場:京都大学 工学研究科物理系校舎

### 第5回熱流体工学懇話会

1) 10:30~12:00 石山拓二氏(S53、京都大学 エネルギー科学研究科)「燃料噴霧・噴流の着火と燃焼」

2) 13:00~14:00 稲田 満氏(S52、三菱重工業(株) 高砂研究所)「ガスタービンにおける燃焼と伝熱」

3) 14:00~14:30 今後の運営についての相談

### 第6回設計・製造・材料・機素・振動懇話会

1) 10:30~12:00 矢部 寛氏(S35、大阪電気通信大学)「気体潤滑技術の源流から現在まで」(難しい話ではなく漫談との由、幻のfare you well 講義です。)

2) 13:00~14:00 幡中宣夫氏(H6、大阪ガス(株) 技術部、原料部)「LNG船の建造について」

3) 14:00~14:30 今後の運営についての相談

## 4. 関西支部「異業種交流会」・「産学交流会」の参加会員(第2期登録会員)の募集

関西支部は、ご承知の通りH11年度後半から「情報・知識に関する交流と、人的ネットワークの拡大を図る」ため、「異業種交流会」「産学交流会」を支部活動の大きな柱の一つとして実施して参りました。1年半の実績は、異業種交流会6回、産学交流会5回を開催(合計延べ参加者約500名)し、目標の成果を上げてきております。

人的交流を重要な目的の一つとしておりますので、一定期間継続的に参加していただく「登録会員」制度で引き続き運営していきたいと考えております(第2期登録会員はH13年度下期から2年)。勿論テーマ毎に参加される随時参加も歓迎します。

京機会ニュース No. 5~8 に掲載されている交流会の実績をご参照頂いて当交流会の趣旨ならびに運営方法の考え方に格別のご理解を頂き、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、第1期登録会員の継続、院・学生会員、関西支部以外の京機会会員の方々の参加も歓迎します。

#### 【異業種交流会】

- ・主要会員企業の関西地区の事業所（持ち回り）において平日午後開催する。
- ・事業所（工場、研究設備等）の見学、技術開発事例の発表、製品の紹介ならびに討論を通じて技術動向、事業活動等の動向を知ると共に交流を図る。
- ・さらに交流を深めるため懇親会を開催する。
- ・参加者は予め登録した会員（開催案内を E-mail 等で通知する）と、随時参加（京機会ホームページに開催案内を掲載。京機会ニュースにも可能な限り掲載）とする。
- ・会費は無料とする。ただし、交通費、懇親会費（3,000 円）はご負担いただく。
- ・平成 13 年度は 4 回の開催を予定しています。

#### 【産学交流会】

- ・大学の有志の先生方を囲み、先生方からの先端工学・技術、トピックス等の紹介や基礎講義、企業側から技術開発、技術動向等に関して事例発表をする懇話会として開催する。
- ・H13 年度は「熱流体」「設計・製造・材料・機械要素・振動」の 2 分野に分けて開催する。

- ・会合は主に土曜日（午後）大学で、2~3 件の講演（話題提供）と討論を行う。
- ・さらに交流を深めるため 2 分野合同の懇親会を開催する。
- ・参加者は予め登録した会員（開催案内を E-mail 等で通知する）と、随時参加（京機会ホームページに開催案内を掲載。京機会ニュースにも可能な限り掲載）とする。
- ・会費は無料とする。ただし、交通費、合同懇親会費（2,000 円程度）はご負担いただく。
- ・平成 13 年度は 3 回程度の開催を予定しています。

#### 【第2期登録会員の募集】

##### (1) 募集人員

京機会会費納入の会員を対象とする。

異業種交流会 100 名程度

産学交流会 2 分野 各 80 名程度

##### (2) 申込先・締切り等

・第2期会員申し込み締切り：5 月末日

・申込先：京機会事務局 段 智子

・問い合わせ先

平成 13 年度支部事務局長 坂口保彦（JR西日本）

平成 13 年度支部担当 牧野俊郎（京都大学）

Tel. 075-753-5265 Fax. 075-771-7286

## 京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業 「リカレント教育」

### 第一回リカレント教育の報告と今後の展開

松久 寛 (S45)

京機会関東支部設立総会にあわせて、機械系工学教室第二世紀記念事業のひとつリカレント教育を実施しました。これは大学の教官らが各地におもむいて、各分野の基礎、最新動向、トピックスなどを講義するものです。下記の 3 講義を開講し、それぞれ 22、23、11 名、計 56 名が参加しました。若い人から、年配の人まで、アトホームな雰囲気でも楽しいものでした。

#### 1. 粒子線の研究・応用の最近の動向および東京大学の加速器施設の見学

講師：井手亜里（エクテサビ・アリ）、(S52、京都大学精密工学専攻助教授)

#### 2. 振動工学の最近の動向とトピックス（ゴンドラ、船、橋の揺れを止める）

講師：松久 寛 (S45、京都大学精密工学専攻教授)

#### 3. 有限要素法の実習付き講習会

講師：小寺秀俊 (S55、京都大学機械工学専攻教授)

現在、下記のテーマを準備しています。ご利用ください。連絡は京機会事務局まで。

### リカレント教育テーマ

担当者	基礎シリーズ	最近動向シリーズ、トピックス
松久 寛 (S45)	振動工学の基礎 (6時間)	制振の最近動向 (1.5時間)
	機械音響、騒音の基礎 (6時間)	ゴンドラや船の揺れを止める (2時間)
吉田英生 (S53東工大)	熱力学の基礎 (6時間)	マイクロガスタービンを中心とする分散型電源 (1.5時間)
	伝熱学の基礎 (6時間)	地下圧縮空気エネルギー貯蔵について (1時間)
	大気科学 (6時間)	マイクロポンプの開発 (1.5時間)
落合庄治郎 (S46)	複合材料の基礎 (4時間)	複合材料応用の実用動向 (2時間)
松原 厚 (S60)	送り駆動系の設計と制御 (6時間)	加工適応制御は有効か? (1.5時間)



## 第2回リカレント教育参加者募集

日時：5月26日（土） 13：00～

場所：産業技術記念館（名古屋駅近く）

1. リカレント教育1（13:00～16:00）  
モノづくりの現場での人間知とIT：熟練技能の伝承とナレッジマネジメント

京都大学精密工学専攻 助教授 榎木哲夫（S56）

「人間中心生産、人間中心設計、人間中心の自動化、……」最近のかけ声にはとみに人間回顧が目立つがその背景はいかなるものなのか。その一方でITの言葉が新聞紙面に踊らない日はない。人間知とIT、この一見相対する両者はどこで融合を見ることになり、どのような棲み分けを図ろうとしているのか。本講演では現在モノづくりの現場で、技能伝承や知識の共有・再利用を目指して展開されているナレッジマネジメント（知識経営）へのメカ企業の取り組みと、技能のデジタル化に向けた大学での理論解析の研究現状について概説する。

2. リカレント教育2（リレー講義）

熱流体計測の基礎Ⅰ：「どのような物理に基づいてどのような量を測るか」（13:00～14:30）

京都大学機械工学専攻 教授 吉田英生（S53 東工大）

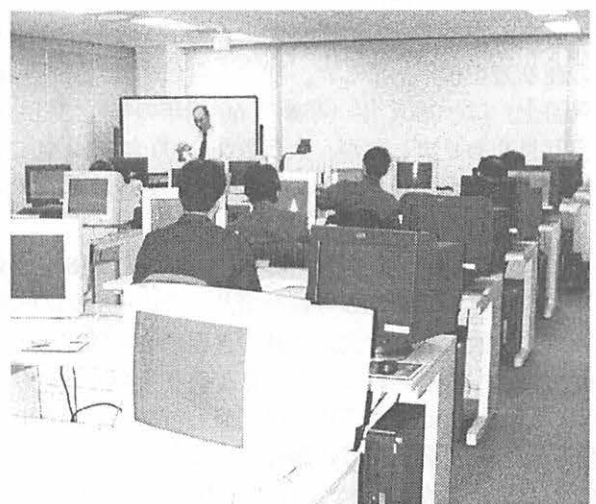
熱流体现象を理解する上で重要な各種物理量の意味を説明するとともに、運動量・熱・物質輸送の相似性に代表されるような異なる物理量間に共通する性質や、実験時に考慮すべき種々の無次元数等につき解説する。

熱流体計測の基礎Ⅱ：「基礎的な物理量をどのように正確に測るか」（14:30～16:00）

京都大学機械工学専攻 助教授 中部主敬（S56）

熱流体现象を解析するためには、流体の温度や流量・流速を可能な限り高い精度と確度で計測する必要がある。ここでは、熱電対やレーザー流速計などを用いた基礎的な計測方法およびその計測原理を講述するとともに、取得データの処理方法、計測に際する留意点などを解説する。

参加希望者は京機会事務局までお申し込み下さい。



リカレント教育の風景（講師 小寺先生）

立花明知 (S49)	一般化学の基礎 (6時間)	ab initio MDの実用動 向 (2時間)
	電子軌道の基礎 (6時間)	ナノワイヤーの第一 原理計算 (2時間)
北條正樹 (S54)	複合材料の基礎 (4時間)	複合材料の構造材料 への応用とその特性 (2時間)
	固体物性学の基礎 (6時間)	力学特性評価と試験 法標準化 (1時間)
木村健二 (S51)		イオンビーム技術の 動向 (1.5時間) 原子レベルの表面分 析 (1時間)
井手亜里 (エケサビ・ア リ) (S52)		粒子線の研究・応用の 最近の動向 (2時間)
小寺秀俊 (S55)	有限要素法の実習 付き講習会 (4時間)	マイクロマシンの研 究に関する最新動向 (2時間)
中部主敬 (S56)	熱・物質輸送現象論 の基礎 (3時間)	最近の熱流体計測 (1.5時間)
	燃焼工学の基礎 (3時間)	噴流の衝突伝熱特性 と自励振動を利用し た伝熱制御について (1時間)
久保愛三 (S41)	Mechanical Power Transmission のトア ブルシューティン グ (損傷原因と対 策) (6時間)	Mechanical Drive Sys tem のトレンドと関 連技術の問題点 (1回1時間程度)
	機械部品の損傷モ ード、原因、対策 (6時間)	
	機械部品、工具等の 3次元作用面の形状 精度測定法の基礎 (2時間)	
	歯車の小形、軽量 化、高容量設計法の 基礎 (2時間)	
	歯車の低振動静粛 化設計法の基礎 (2時間)	
	技術・経済・政治・ 人間 (6時間)	

今後、更にリカレント教育のカリキュラムを充実させていく予定ですので、ご期待下さい。また、ご希望のカリキュラム内容がございましたら、京機会事務局までご連絡下さい。

## 教官の異動

### 退官

矢部 寛 教授：本年3月31日停年退官

岡阪 令 助手：本年3月31日停年退官

### 就任

小寺秀俊 教授：昭和55年機械工学科卒、昭和57年機械工



学専攻修了、松下電器産業(株)中央研究所勤務を経て1993年から助教授。(計算科学と粒子マイクロメカニクスに関する研究)2000年10月より教授に昇任しマイクロシステム工学・マイクロメカニクス・計算科学の研究に従事。薄膜材料の機械的特性に関する研究・圧電材料に関する研究・マイクロデバイス最適化に関する研究と最近ではマイクロTAS(Total Analysis Systems)に興味を持っている。著書は「電磁場解析理論」と「現代免疫学」。

趣味は、アウトドア(キャンプや釣り)、それと水泳  
好んで飲むもの ワイン(赤のみ)

石山拓二 教授：昭和55年に京都大学大学院機械工学第二専



攻を修了後、川崎重工業(株)、徳島大学を経て、平成8年本学エネルギー科学研究科助教授に就任、本年2月1日教授に昇任。同研究科エネルギー変換科学専攻に所属し、内燃機関の熱効率向上・排気浄化を専門に研究している。

小森雅晴 助手：平成7年京大精密工学科卒業、同9年京大



大学院修士課程精密工学専攻修了、同年モニター・カンパニー・インク入社、同11年同社退社、同年京大大学院博士後期課程精密工学専攻入学、同12年12月1日、本学助手(大学院工学研究科精密工学専攻デザインシステム論講座勤務)。研究テーマ：機械要素、動力伝達装置の運転性能。趣味はオートバイ、カメラ、演劇鑑賞。

## 会員のページ

### 1. 京大三恵会(京機16年後期会)の報告

平成12年10月16日、三恵会が第30回総会を開催しました。昭和16年12月に卒業して以来、今年(2000年)の年末で、卒業59周年を迎えます。

開戦と同時に卒業し、終戦後殆どが職場を失って連絡も取れなかった状態が続きましたが、昭和46年(1971年)、卒業30周年を機に初めて同窓会(三恵会)を開催し、以後毎年欠かさず総会(宿泊・旅行付き)を開いてきました。夫人同伴可で多いときには参加者35名の盛大な会でしたが、会員の全てが80才を超え、物故者・故障者が急増するようになり、これまでのスタイルを維持することが無理と感ぜられるようになってきましたので、この1年間全員のアンケートをとり、今後の在り方を模索しました。総会と会員名簿に添えられる「一筆啓上」は、2001年(卒業後60周年の年)で打ち止めとする意見もありましたが、大多数が2000年(20世紀最後の年)で止めようと云うことでしたので、今回は最後の総会と云うことになりました。

16時30分、会場の京都センチュリーホテルに18名が集まり、ホテルの写場で記念の写真を撮り、その後会則の大幅な変更を決め、変更された会則に基づき三恵会の積立金の会員への配分方法も決定されました。議事終了後懇親会に移り、総会は今回で終了しても三恵会は今後も存続するのだし、各自健康に留意し、会員相互の親睦を今まで通り続けて行こうと励まし合いました。(H12.10.30 三木英雄 記)

最終総会の記念写真をお目にかけます。



後列左から――(藤澤)・(藤田)・(三瀬) ( )は夫人  
中間列左から――(諏訪)・(石崎)・(松岡)・(諏訪)・(藤澤)・(三木)・(芦田)  
前列左から――小柳・伊藤・三木・三瀬・笠松・丸山・藤田・石崎

### 2. 京機22年会同窓会報告

1. 京機22年会関西大会(於：大阪クラブ)

- (1) 平成12年3月27日 参加者19名
- (2) 平成12年9月25日 参加者17名
- (3) 平成13年3月26日 予定 大阪クラブ
- (4) 平成13年9～10月に全国大会を京都にて開く予定。

2. 京機22年会誌「余滴」第3号を1月に発行。

3. 井上忠義君が平成12年12月10日逝去されました。

### 3. 昭和23年卒(京機23年会)同窓会開催報告

1. 開催月日 平成12年11月16日(木)

2. 会場 京都センチュリーホテル

今回は、一昨年50周年記念同窓会を奥島先生のご臨席の

下に開催して以来初めてのもので参加者は12名で聊か淋しかったですが、東京、広島、富山等遠方から参加いただき旧交を温め楽しい一時を過ごすことが出来ました。

平成13年度同窓会は11月15日(木)に既に決まりました。この記事を読まれた方は、是非スケジュールに入れておいていただいでご出席を予定願います。



前列左より；遠藤、中村、井宮  
後列左より；山田、西岡、竹内、岐美、岡崎、高橋、田中、江本

#### 4. 五十年会 2000年第56回秋期例会報告

幹事：畠正雄、森川龍一

- I. 日時：平成12年10月30日(月曜日)  
11:30より15:00までの3時間半
- II. 場所：レストラン『モンレーブ』(梅田東海銀行ビル9階)
- III. 出席者：太田邦男、木本正文、田中裕、谷 晃、長尾剛一、野木圭三、畠正雄、福井紀生、松浦清一、宮里義一、森川龍一、大和久士、山中正敏の各氏 以上13名。
- IV. 会の進行：
  - 1) 記念写真撮影と報告事項  
春の五十周年記念同窓会が以後、幸い今日に至るまで同窓会員は皆さん御無事であった。幹事森川より保管してあった1950年卒業直前の記念写真の乾板を披露する。また卒業後最初のガリ版刷りザラ半紙の会員名簿第一号冊子(昭和26年秋9月現在、表紙とも5ページ)も出て来たので、現物に模した黄色紙への複製を配付。京機本部のホームページに我々五十年会の記録が多く披露されている事を紹介した。
  - 2) 食事と閑談；12:00より13:00
  - 3) 福井紀生君の卓話：題名『田舎の生活』



大阪のレストラン「モンレーブ」にて

同君は現役の仕事から退職後は一転して故郷に隠り、土地の顔役として活躍して居られる。色々な世話を引受ける立場となり、特にベテラン民生委員として近隣に貢献されている苦労話は、この方面に疎い我々の認識を目覚めされるものであった。

V. 再会を約束して解散；15:00

次回は2001年、5月8日(火曜日)：11:30-15:00、場所は同じくレストラン『モンレーブ』にて、また卓話を下間君にお願いし、内容は彼の終生の研究『機械技術史について』

#### 5. 平成12年度泰山会の報告 (S27入学/S31卒業同窓会)

平成12年11月19日開催。この日は秋晴れに恵まれました。先ず13時45分保津川(亀岡)乗船場に16名集合、有名な保津川下りを体験しました。京都のメシを食っていたのに1人以外は皆はじめて！水はやゝ少ないものの、秋の色とスリルに大はしゃぎ。なつかしの嵯峨を散策後、再びJRで亀岡ハイツ(湯の花温泉)へ。例年の如く大宴会。今度はそのまま泊りなので話題など尽きないようでした。しかし人生の節目を通過中の我々、話題は年々微妙に変わっているように見えます。翌20日は多数の者がり溪ゴルフクラブで更に1日を楽しみました。来年は兵庫県地区で開催することを決めました。(田村和彦 記)

#### 6. 「京岬会」(S33年卒同窓会)の報告

昭和33年に京大機械科学部を卒業した故に「京岬；きょうみさき(33期；みさき)会」と称する我々同期は、ミレニアムを記念する同窓会を平成12年10月21日(土)、22日(日)の両日、世界最長の吊り橋“明石海峡大橋”をテーマに、橋の本州側たもとの“舞子”の地にて開催した。

初回以来30年ぶりとなった泊りがけの同期会に17名が参加し、先ずは“橋の科学館”にて橋に結集された先端の材料(ワイヤーの引張強さ180kg/mm<sup>2</sup> etc)、技術(ドライエアーによる防錆 etc)や施工法(ワイヤーの基礎への固定法 etc)等を学んで地元幹事への専門的な質問封じをされた後、“舞子会場プロムナード”で橋の一部を歩いて眼下の海面を見下ろして、その高さやスケールを実感した。

その後、近くの“孫文記念館”を訪れた後、大橋を真近かに見下ろせるシーサイドホテル“舞子ビラ神戸”の最上階にある中華料理店“海蜆”で広東料理を味わいながら、近況報告会と懇親会を行い、旧交を温めるとともに各自の退職後の活動や余暇の活用状況等お互いに有意義な情報の交換を行った。

翌日はゴルフ組、観光組共に“明石海峡大橋”を自家用車で渡って、ゴルフ組は“淡路カントリー倶楽部”で海外でのゴルフを楽しみ、また観光組は“北淡震災記念公園”の野島断層を見学して地震エネルギーの大きさを実感し、それぞれに楽しく2日間を送り、ゴルフ組の一部は明石特産のアナゴの蒲焼をみやげに再会を約して帰路に着いた。

(幹事 藤野良和 記)



“舞子ビラ神戸”の中庭にて

### 7. 銀友会(S36年卒・東京地区同窓会)の報告

S36年卒は東京地区に常に15~18名が在籍し、ここ10年来、毎秋必ず同窓会を開き、地方からの飛び入りの参加者も含め、和気藹々の仲になっています。

今回はメンバーの小野雄司君が、JICAからカンボジアに長期派遣されることを機に平成12年9月29日に臨時に集まり、還暦を超しての壮途を祝いました。今年も、数年振りに全国版を実現すべく、四方・坦田の両君が秘策を練っておられます。

(山本 明 記)



### 8. 昭和43年卒・同窓会

最近、毎年開催になってきましたが、今年度は平成12年11月3日(金)、トヨタ名鉄ホテル(愛知県豊田市)において、トヨタ自動車高岡工場見学も兼ねて開催し、31名の参加者が楽しいひと時を過ごしました。翌日も有志の人達でトヨタ博物館を見学し、世界の懐かしい車を見ながら談論風発、時の経つのを忘れる程でした。

今回は小島達雄君をはじめ、広島付近の皆さんが世話役となって開催する事になっております。同期の皆さんとの再会を楽しみにしたいと思います。

平成12年幹事：加藤健治、中西 清、瀧本正民



### 9. 井手研(旧エクテサビ研)同窓会

平成13年2月3日(土)、京機会関東支部設立総会、新年会の後、精密工学専攻井手研(旧エクテサビ研)同窓会が開催されました。井手研OBだけでなく京機会事務局員段智子さん、他研究室卒業の方も参加され、昔話に花が咲きました。今後もこういった集まりを毎年開催し、活発な情報交換を行いたいと思っています。



写真左から高田康治(H12 修士卒)、井尾賢司(H19 修士卒)、佐野智一(H11 修士卒)、井手亜里助教授、大塚貴功(H10 修士卒)、佐々木将志(H11 修士垣野研卒)、間嶋亨(H9 修士松久研卒)

### 10. 第13回機河会(河本研究室同窓会)開催のご案内

とき：平成13年8月25日(土) 12:00 ~16:00

ところ：京大会館 SR室

幹事：戸谷 靖隆(昭和42年卒、住友金属工業(株))

### 11. S45卒同期会

4/21(土)に京都にて同期会を開催いたします。場所などについては、決まりしだい下記のホームページに掲載し、E-mailにて連絡いたします。

「<http://www.lares.dti.ne.jp/~mnislida/keiki45/>」

### 12. S49卒同期会(関東地方)のお知らせ

下記要領にて同期会を開催します。関東地区の開催は初めてとなりますので奮ってご参加下さい。また当日東京近辺におられる方も是非ご参加下さい。

日時：平成13年4月1日(日)午後3時00分

場所：「北海道」八重洲店

(電話：03-5255-3886：JR東京駅より徒歩5分)

会費：8,500円(含む、写真代)

参加頂ける方は3月28日までに木枝にご連絡下さい。

またE-mailのリストを作っておりますので、アドレス並びに近況等をお知らせ頂ければ幸いです。

世話人：関納真一(大阪ガス)

木枝茂和(日立製作所)

吉田史郎(住友重機械)